

令和 8 年度第 1 回多職種多機関連携研修会

日時：令和 8 年 7 月 27 日（月）

19：00～20：30

場所：春日クローバープラザ

セミナールーム AB

次第

※筑紫地区在宅医療介護連携の取組紹介（18：45～19：00）

1. 実際どうする“ACP”

講師：堤 俊太 先生

八戸市立市民病院救急救命センター／iACP

2. その他

アンケート QR



memo

実際どうする“ACP”？

この度はお忙しいなかご参加いただきありがとうございました。今日の研修会は、ACPの「正しいやり方」をお伝えする会ではありませんでした。むしろ、答えのないものを、答えのないまま、みんなで考えてみる—そんな時間を、地域で活躍される多施設・多職種の皆さまと一緒に過ごせたことが何よりの成果だと思っています。リフレクションを用いた振り返りは意識的に行うと有効です。今回の話をふと思い出すことができたらと思い、要点を文章にまとめました。

1 そもそも、意思是“前もって”決められるのでしょうか

ACPは「アドバンス（前もって）・ケア・プランニング」。つまり、将来の医療やケアについて前もって話し合い、決めておこうという考え方です。けれど、人生の最終段階というテーマは、変動し、不確実で、複雑で、曖昧です（VUCA）。病状は日々変わり、気持ちも揺れます。考えてみれば、私たち自身だって、明日の自分の気持ちすらわからないのに、「将来どうしたいですか」と患者さんに尋ねている—このことに、まず立ち止まってみたい。そんなお話から今回の研修はスタートしました。実際、ACPには「なってみないとわからない」「一度言うとな撤回しづらい」「時間切れになりやすい」といった問題点が、指摘されています¹⁾。だからこそ、チェックリストを埋めて安心するのではなく、決められないものを扱っているのだ、という自覚から始めることが、誠実な出発点なのだと思います。

2 グループワークを通じて

今回は、末期心不全で入院中の春日ハルさん（仮名）を巡って、グループワークを行いました。今回はリフレクションという枠組みを用いて考えてみました。日頃の仕事では何らかの枠組みに照らして考えたり、「私たちの」感情にはなかなか思いが巡りません（私たちの感情は挟まないようにしているとも言えるかもしれません）。グループで話し合われる意見には、話す人・聞く人、それぞれの経験・感情・価値観が反映されます。意見の違いや、ご自身の感情・価値観に目を向けることの難しさを体感していただけたと思います。私たちは、援助しようと思った方に関わった瞬間から、私たち自身の経験や価値観も、その対象の方の物語の一部になります。援助者は決して「外側から観察する人」ではられないのです。決めることはプレッシャーも伴いますが、同時に大きなやりがいと誇りを感じるものです。

3 唯一の正解を導ける人は、いない

もし絶対の正解があるなら、とくに国のマニュアルになっているはずです。それが無いということは、正解は「関係性の中」にしかないのだと思います。私とハルさんで生まれる答えと、違う援助者とハルさんの間で生まれる答えは、違っていい。関わる人たちの無限の組み合わせが、その都度の最適解をつくっていきます。一人で背負い込む必要はありません。背負いすぎずに、関わる人みんな決めていく。「この人たちとなら、なんとなくやれる気がする」そう思える関係があること。それこそが“コミュニティの力”になるのではないのでしょうか…

4 結局、ACPとは何なのでしょう？

ACPは、「最期の医療をどうするか決めて回ること」ではありません。DNARを確認して書類を埋めることでも、一度聞いた答えをカルテに残して終わりにすることでもないように思えます。まず、自分と相手の“見ているもの”を知ること。その人を思って、一緒に考えること。関わりを通じて、何か明確な答えを出そうとしたり、目的を持つとその関わりの意味は変容してしまいます。日々、思いは変わる。関わる人全てのことがわかることではないまでも、その人のことを立ち止まって考える。それこそがACPの大切な要素なのではないのでしょうか。

リフレクション — 「認知の 4 点セット」²⁾

リフレクション（内省）とは、自分の内面を客観的に振り返る技術のことです。次の 4 つに分けて捉えると、自分のこと、援助しようとする人のこと、となりの人のこと、について一歩深掘りして知ったり、新たな見方で関わるることができるかもしれません。

意見	いま、思っていること・考え Ex) 「在宅がいいと思う」「入院が安全だと思う」など。	「どう思う？」
経験	その意見の“もと”になった出来事。 Ex) 過去に関わった患者さん、自分の家族のことなど。	「どんな経験から？」
感情	その経験や意見に紐づいている気持ち。 Ex) 嬉しかった、悔しかった、怖かった。	「どんな気持ちか？」
価値観	意見・経験・感情を俯瞰して見えてくる、自分が大切にしているもの。	「何を大切にしている？」

※意見・経験・感情・価値観どこから書き始めてもよい

※意見は同じでも価値観が違うこと、意見は違っても価値観は同じこと、はよくあります。

リフレクションの使い方

- ①自分を振り返る使い方です。「なぜ私は〇〇がいいと思ったんだろう？」と、自分の意見の奥にある経験・感情・価値観を掘ってみる。すると、自分の“ものの見方のクセ”が見えてきます。自分というメガネを通してしか相手を見られないということに気づきます。
- ②協働で分かち合う使い方です。同僚の意見に「？」と思ったとき、反論する前に、その奥の経験と感情を聴いてみる。相手の経験・想いを想像しようとするれば、対立は対話に変わります。
- ③患者さんに対しても同じです。「こうしたい」という言葉の奥にある経験・感情・価値観を聴くこと—それが「その人を知る（完全にわかることはないとしても）」ことに繋がっていきます。

明日からの、小さな一歩

今回の研修の目的の 1 つは「ACP についてポジティブな気持ちで向き合えるようになる」でした。いかがだったでしょうか？ ACP の問題点含め、完璧なものはありません。明日から日常の仕事の中で、あるいは生活のなかで、「この人、どんなことを思っているんだろう？」と考えてみる。あるいは、ACP に関連しなくても、職場で意見がぶつかったら…相手の経験をひとつ聞いてみる。はっきりしないで気持ち悪いと思うこともあるかもしれません。しかし、答えのないものを、答えのないまま持ってみるというのも、私たちの大事な仕事のひとつなのかもと思っておきます。

参考文献：

¹⁾ Sean Morrison R. Advance Directives/Care Planning: Clear, Simple, and Wrong. J Palliat Med. 2020 Jul;23(7):878-879. doi: 10.1089/jpm.2020.0272. Epub 2020 May 21. PMID: 32453620.

²⁾ 熊平美香. リフレクション(REFLECTION) 自分とチームの成長を加速させる内省の技術. ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2021

アンケート結果

名称：令和 8 年度第 1 回多職種多機関連携研修会

日時：令和 8 年 7 月 27 日（月）19：00～20：30

場所：春日クローバープラザ セミナールーム AB

講師：堤 俊太 先生 八戸市立市民病院 救急救命センター／iACP

研修タイトル）実際どうする“ACP”？

参加者：研修受講者 98 名 事務局等 5 名



内訳）医科医師 11 名・歯科医師 1 名・薬剤師 4 名

訪問看護師 14 名・病棟看護師 2 名・外来看護師 1 名・施設看護師 2 名

連携室看護師 4 名・看護部長 2 名・ソーシャルワーカー 6 名

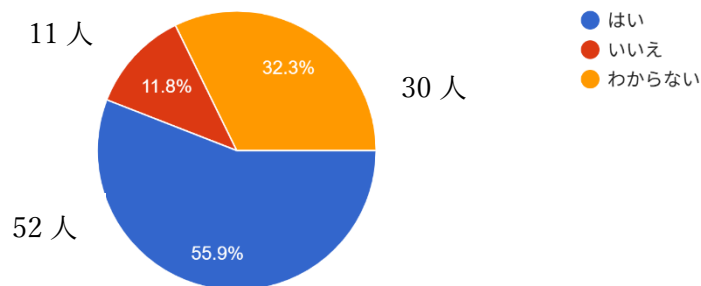
介護支援専門員 32 名・介護員 4 名・高齢者施設職員 5 名・生活相談員 1 名

地域包括支援センター 3 名・保健師 4 名・救急隊員 2 名

【アンケート結果】

アンケート回答者数 93 名（回収率 95%）

問 1 ACP への考え方に変化はありましたか？（変化することが良いという意味ではありません）
93 件の回答



【「はい」と回答した方の変化】

・ ACP の考え方が増えた

・ 正解があるわけではないし、沢山の考え方の中でボトムアップで考えるのだと感じた

・ACP に正解はない。というところに改めてそう感じた。私たちも正解ではなく最適解を探す。選択肢を最適解にする。という考えという共通言語で実施してますが、再確認できました

・目的が同じという軸がブレなければ、意見が違って当たり前。利他の違いの中で、思い遣りを持って考えていくことが大事。これまでは結果を気にしていたが、結果ではなく過程が大切だと思えた。

・自分の ACP も含めて考えていきたい

・主はその方であること

・リフレクションの考え方が影響していること

・これまで同様、患者さんやご家族の大切にしてきた、しているもの。ことを伺て可能な限り対応していきたい。

・ACP を手段として考えない。感情をもって関わりたい。

・深く考え 4 つの考え方で考えていく

・援助者自身も対象者の問題の一部…に共感しました

・自分の考えの傾向を知るというのは大切だと感じました。援助する人たちによって、方向性も変わっていくという話を聞いて、身のひきしまる思いです。

・課題もあるというところを知るからこそもっと取り組んでいかねばとか取り組み方について考えさせられました。

- ・型にはめない。それぞれの考えに添って進めて行く

- ・単に用紙を埋めることだけではない

- ・やはり難しいと感じました。そのときどきの心身の状態で感情、願いは変わることがあるためです。その都度、更新していくことが必要だと思いますが、自分が死に近づいてきたときに、どう変わるかを考えるほど苦しいですし、自分や家族に死が近づいたときに、その決断をせまられることは苦しくつらいだろうと想像します。

- ・意見、考え、思いに違いがあって良いといつことを再認識できた

- ・立場によって色々な価値観があると思いました

- ・個人個人で様々な価値感、思いがあり正解はなし。受け止め合うことが大切だと思った

- ・それぞれの職種での ACP の意見を聞けて、多職種連携に役立った

- ・『ゆらぎ』について

- ・多職種で考え方は違う

- ・色々な考えがあり、いろんな価値観でいい。

- ・あいまいで、変化していくものであるし、それは価値感や感情に大きく影響されるものであると思った。

- ・何があっていて間違っているかという問題はないと気づけた。

- ・家族や周りの背景を理解していく、難しさを再認識しました。

- ・自分が関わることにより、何色にも変化する
- ・必要性に気付けた
- ・考えは変化するもの
- ・思いやりって大切だと思いました
- ・専門職としての立ち位置だけでなく、本人の立場に立って考えていきたい
- ・リフレクションという枠組みで考えるということを学んだ
- ・ACP は地域でやるということ。答えはないということ
- ・職種が違う方からの意見がきけた
- ・当事者と向き合い意志を確認すること、協力して行う必要性
- ・意志決定という言葉だけでなく、色々な考え方があり思いがあるということが、この

研修で理解することができました

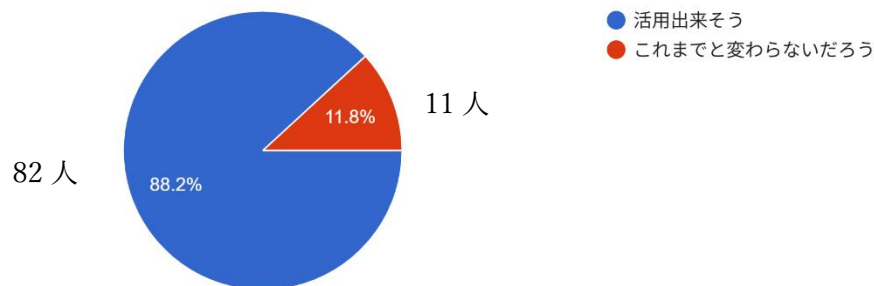
- ・自分自身もしっかり ACP を学びたいと思いました
- ・より地域で支え合って、ACP をやっていこうと思いました
- ・いろいろな他職種の方からの意見を聞き考え方を共有できた
- ・見え方の違いを対話にする。考え方の根底が変わりました
- ・自分の事と捉えると ACP も変わるということで少し取組み方が変わるかな？と思っ

た

問2

実際の支援で今回の研修を活かせそうですか？

93 件の回答



【活用出来そうの理由】

- ・他職種の目線で考え方がきけてよかった
- ・まさに多職種連携で活用できると思いま
- ・地域だけでなく社内でもお互いが正解の考え方は共通するとおもった
- ・援助者にて利用者に「ゆらぎ」が生じることを頭に入れて支援をしていきたい
- ・他者を認めて、結果ではなく過程に重きをおけそうだから
- ・利用者さんやスタッフへの振返りをしていきたいと思う
- ・利用者さんやスタッフへの振返りをしていきたいと思う
- ・本人・Fa の思いを傾聴して意志決定を進めて行く
- ・タイミングは難しいが、しっかり向き合いたいと思う
- ・援助者自身のことも大切にすることは、本当に重要であることを再認識しました
- ・医師やケアマネなど多職種側の目線の考え方が聞けて良かった
- ・自分の気持ちも大事にして相手の思いによりそって ACP を考えていきたい
- ・色々な考えを持ち、地域でもりあげていきたい

- ・意見、経験、感情、価値観を考えていくプロセスを考える習慣をつけていくのが大切

だと感じた

- ・思いやり、隣の人を想う事の大切さがもっとわかりました
- ・自分の感情もふりかえりながら支援に行かせていけたらと思います
- ・めっちゃ良かったです！リフレクション活用できそう
- ・色々な立場の方々の意見を聞けました
- ・利用者様を理解していこう。と思いながらこれからも接していきたい
- ・難しいとは思いますが取組んでいきたい
- ・リフレクションという方向を学びました
- ・他職種目線での話を聞いたことでやはりその都度、医師を確認することは大切だと思

いました

- ・今までも ACP の活用を意識してきたが難しいことではないと今日の研修で感じた
- ・仕事を通して、よくある内容であったから
- ・まずそれぞれの価値感、思い、考えを理解しようという姿勢をもつ
- ・関係する職種すべてが、この ACP について共有する必要がある
- ・患者背景は違うが、感情とか価値感が大事。リフレクションは振り返り、協働に使える
- ・感情や価値観を押す殺す訓練をしているという気づきが自分に影響を与えたと思

ました

・考え方、見方、変わったとまではいかないけれども、こんな考え方、見方もあるんだ

とよい経験になりました

・相手を思いやる、手技が身についたと思う

・他職種の意見をよくきく

・ご利用者さんに色々な意見を提案できそう

・何が患者様、利用者様に大事なのか再度考えさせられる内容でした

・リフレクションの活用、事業所でも考え方を共有してみたい

・自他の違いを学ぶことで自分に振り返る事

・堤先生に直接お話をきけてその空気感で学べました。常にその人の幸せを考える

・今まで気づかなかったことがあった、感情・価値観に目を向ける

・意思?経験?感情?価値観という流れを考えていけば実際の支援が変わっていくのでは

ないかと考えました

・4つの枠組みを考えるということ

・自分の立場（役割）からできることをやっていく

・利用者のことを知ろうとするための聞き方などに活かしたい

・自分を振り返る（自分のものの見方のクセ）がわかる。それを振り返ることで考え方を

見直すことができることが分かりました。利用者の思いを引き出すために、自分の価値

観を押し付けてはいけないと思いました

- ・職種によって視点が様々なので多職種との連携がほんとうに大事だと再認識しまし

た。今後は、積極的に連携していきたい

- ・感情、価値感に目を向けリフレクションしていこうと思います

- ・自身の感情や思いを支援にある程度反映していく事も大切であると学ぶことができ

た

- ・『この人なら大丈夫そう』という信頼関係を構築することを意識できればと思います

- ・ケアの方針を考えたり決める際、自身の感情、価値観を出すことが少なかったため、

自信を振り返る機会となった

- ・多職種の方々の話が聞け、多面的に考えられるよう努力していく

- ・利用者をいろいろな角度でみられる 他のスタッフにも伝えたい

- ・相手の意向とともに、感情をききとると、価値感の理解が深まると思った

- ・相手の思い、考えを客観的に考える

- ・他職種に意見を聞く事を意識しつづける

- ・多職種の経験（終末期）を意見、考え方多く知ることができた

- ・他職種の意見を沢山聞いて話していこうと思う

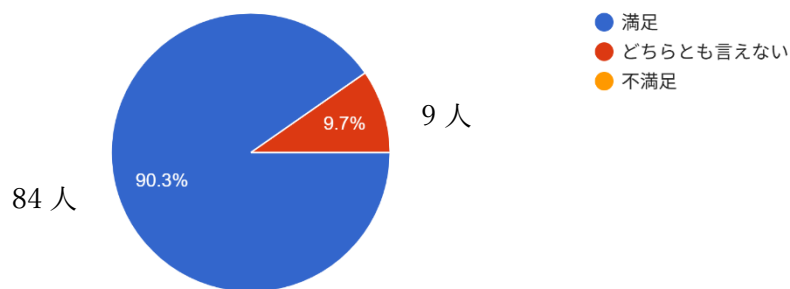
- ・思いがけている

- ・自分自身の価値観について振り返りの方法を知れたから

【これまでと変わらないだろうの理由】

- ・ ACP への理解が広がり皆が知ることで活かす機会が増えると思います
- ・ わからない
- ・ 今回のフレームワーク自体が私にはむずかしかった

問3 本日の研修はいかがでしたか？
93 件の回答



【満足の理由】

- ・ 難しかったですが様々な方の意見が聞けて勉強になりました
- ・ 他者の発表を聞くと手段になっている事が多く、曖昧な情報だと、想像する事が難しいのだろうと感じて、考え方、思考のクセがわかり、その点が面白く、満足しました
- ・ 対象者の ACP の研修だったが、まずは自分の価値観を考えたり、自分を振り返る機会になったから。今後は今までより、お互いの意見を尊重できそうな気がする
- ・ 少し難しさもありましたが、理解することができた
- ・ いろいろな価値観や視点に触れることができました
- ・ グループワークでいろんな意見が聞けて良かった
- ・ ACP について深く考えたことがなかったため

- ・自分の気持ちに、誇りをもっていきたいと思った
- ・ACP について、もっと深く理解する必要があると感じた。価値感、信頼関係、いろいろな言葉の 1 つ 1 つに意味、違いがあり、深いという印象を感じた
- ・勉強になりました
- ・大変勉強になりました
- ・めちゃめちゃよかったです！！
- ・新しい考え方だと思います
- ・他職種とのグループワークができ、それぞれの視点が分かる
- ・多職種の方の意見がとても参考になった
- ・大変勉強になりました。午前中に相談支援の研修をうけたので、つながります
- ・その時々でタイミングで気持ちがゆらぐことを少し認められるような気がしました
- ・『リフレクション』を初めて知った。とても難しかった
- ・日頃、連携することのない職種の方と意見交換できた
- ・勉強になりました。ありがとうございました
- ・今までとは違う視点で事例を考える事ができた
- ・他職種交流が、自分とちがう目線、方向性がありとても勉強になりました
- ・ACP に対する自分なりの振返りができました
- ・リフレクションの手法

- ・他の方の意見を聞き、気づきがたくさんあったので

- ・先生の語りが心地よかった

- ・関わる人によって、見え方が違う。援助者それぞれの見え方を共有することが、本人

にとっても一緒に考えていくことにつながると考えさせられた

- ・様々な職種の方とお話ができご意見が聞けてよかったです

- ・価値観はそれぞれあり、そこに視点を向けて一緒に考えられる機会になりました

- ・意見を深掘りしていくことが難しかったが自分で練習し、活かしていきたい色々な考

えを認め、思いやりをもって接していく大切さを学びました

- ・自分の考えの傾向も少しわかりました

- ・自身の支援について大いに生かせると思った

- ・他職種の方々の視点を学ぶことが出来ました

- ・自分の経験や感情、価値感を深掘りすることのむずかしさと大切さを再認識しました

- ・ACP について考えたことがなかったためよい学びとなった

- ・他の職種の意見が聞けて良かった

- ・利用者さんの気持ちや考えをくみとることを肯定してもらえたように感じた

- ・ST 内でもリフレクションを勉強して行っていきたい

- ・他職種でのとらえ方の違いを再認識できた。本人の気持ちを考えるの視点を重視に戻

れそう

- ・また、堤先生の研修を受講できたらと思いました。難しい ACP ですが、少し苦手意

識がとれたように思います。ありがとうございました

- ・次回また出席したいと思います

- ・グループワークを通じて様々な意見を知れた

【どちらでもないの理由】

- ・分かったような、わからないような気持ちです。でも、何か得たものもあった気がします

- ・はじめてのワーク研修で難しさもあり、どのようにすすめていいのか分かりませんで

した。思っていた研修とは違っていました

- ・とても難しかったです。療養プランになるとわからない

- ・もっと深く知りたい

問4 ACP について残る戸惑いや悩み、本日の感想

- ・隣が医師で、グループワークの時に「僕にはその考えはなかったね、ケアマネさんな

らではですね」と言われ、嬉しかったです

- ・手元に残る資料がなく、この気持ちと感覚を忘れないようにしないと・・・と思います。

パワポの資料がほしかったです

- ・関係性を築きながら支援できるようになりたいと考えました

- ・ケースについての事例?考え方にとまどった

- ・人生の終わりを考える重みを自分自身に受け止める力があるのか不安

・ ACP は一度聞いたら OK と思って取り組んでいる職員も多く、職場で繰り返し研修を通して考えて行きたい。昨年より、もしバナゲームを行っているので繰り返し行っていきたい

・ 難しいですね。これからも取り組んでいきます

・ GW・講話とてもよかったです。先生の資料ほしい

・ 自分の考えも振り返る事も改めて必要だと思いました

・ 認知症のご夫婦に対し、どう接する？誰に相談するか…

・ また、市ごとの多職種での交流ができるような研修会もお願いします。今回の他市との交流も良かったのですが、市内の多職種の方とのつながりも増やす機会が欲しいです

・ もう少し ACP を知りたいと思いました

・ 成功事例も聞いてみたい

・ もっと、ACP の勉強会に参加したい

・ 周囲の関わりが大事ですね

・ 多職種と話す機会が必要と思いました ありがとうございます

・ 最期をする ACP というイメージでしたが、いろんな意味あいがあると思いました。

ありがとうございました

・ 今後も悩み続けると思います。ありがとうございます

・ 看取りまでくるとやはりご家族の意思が変わってしまうこともあるため、人生会議は

何が正しいかは難しいです

・最近ガン患者の ACP のタイミングはますますとらえて Dr にも働きかけることができるようになってきました しかし内科病名の ACP のタイミングは更に難しいと思っています。これまでの考え方のまま、これからも自信をもって支援していきたいと思いました

・ありがとうございました

・以前、ACP の勉強会で教えてもらったことを思い出しました（医療者と患者は同じ舟に乗っているけれど見ている方向が違う）見ている方向がちがうからこそ思いやりを大切にしたいと思いました

・『価値観』のみきわめが難しい でも価値観は必ず根底にあるということを考えなければいけないので難しい

・本人がどう行きたいかを積極的に知ろうとしたい

・分かったようでモヤっとした気持ちも残りました ケースごとに考えていくことが大切ですか

・どのタイミングで ACP を提案するか

・認知症の方の意向が確認できない

・利用者様やご家族にどう説明して良いか、言葉を選ぶ場面があり、終末期の行為だけを聞く事が多いと多いと思いました

・老健での ACP はどのタイミングで話し合いをするのか、非常に難しいです

・まだ分からないことが多いですが、これから学んでいきたいと思いました。本日はありがとうございました

・『いつ、誰がしてもかまわない』とは思いますが、日頃から『こうしたい』『ああしたい』と話しておくことが大切だと思っています

・それを関わる全ての人と共有しておく、もっと良いと思ってます。もしバナゲーム、何度かしました（自分の家族と） 活用方法が分かりません（笑）

・横文字が多かった…（笑）

・初めて参加で ACP がよく分からず終了まで、なんとかわかったような気がしました
ありがとうございました

・経験やトレーニングが必要と思う 先輩たちが引き出し（経験）を持つよう言われたが、ACP には必要と思う その支援で少しでも本人が決められる

・次回この部屋の場合、座席を分かりやすくしましょう

・漠然としていて、わからなかった。連携が必要とのことを理解しました

・昨年も参加させていただきました